



# 校長室だより

## 2023 Next Stage

令和5年12月8日  
白山市立美川小学校



白山市美川和波町ワ229

TEL 278-2063

展望台からの景色

さくら

美川小学校のよいところは？

ひまわり

池のこい

校長 清水由美子

先月、3年生が道徳の「いちょうの木をまもるために」という単元で、美川小学校のよいところについて考え、発表していました。授業後に担任の先生からワークシートをみせてもらうと、それぞれが美川小学校のよいところ(すばらしさ)をたくさん書き出していました。校舎や学校の施設、学校周囲の環境、児童や先生、授業のよいところ、さらに地域の人々のよいところについて書かれていました。その一部を紹介します。

まず、校舎や学校の施設ですが、3年生は『校舎が広くてきれい』『運動場が広い』『遊具がたくさんある』『教室に手洗い場がある』『レンガと木でできている』などをあげていました。校長室にはたびたび市内外、時には県外からの来客がありますが、初めて来られた人は皆とっていいほど、「すてきな学校ですね」「学校じゃないみたいですね」と言われます。確かに、多くの人は学校というとコンクリートでできていて、狭い廊下をイメージすると思いますし、私もこれまでに勤めた学校はほとんどがそうでした。美川小学校のように木がたくさん使われ、低・中・高学年それぞれにオープンスペースがあり、廊下も広く、吹き抜けのプレイルームがあるこんなめぐまれた学校は県内でも数少ないのです。さらに、低学年のオープンスペースにはDEN(デン)という秘密基地のような遊び場もあります。先日美川小に来られた方は「校舎が広々としているせいか、子どもたちもゆったりと過ごしていますね」とおっしゃっていました。同感です！

11月末に視察のため、名古屋市内の2つの小学校を訪問したのですが、廊下は狭く段差もありスペースの余裕はほとんどありません。また、街の中に学校があるため、児童数に対してグラウンドが狭く、休み時間は密集して遊んでいました。もちろんサッカーをする場所もないので、譲り合って工夫して遊んでいました。改めて、校舎やグラウンドなど美川小学校の学習環境が整っていること、この環境はあたりまえではないことを感じました。

『学年関係なく仲がいい』『みんな、ふわふわ言葉をいっぱい使う』『あいさつが元気』『やさしい』これは3年生が見つけた児童のよいところでした。(まだまだあります)5日のたて割り班活動では、校内のあちこちで楽しそうな声が響いていました。「ハンカチ落とし」や「だるまさんがころんだ」など、5年生が企画した遊びを1年生から6年生まで一緒に楽しみました。高学年は低学年にやさしく関わり、低学年は安心してはしゃいでいました。短い時間でしたが、多くの児童が「楽しかった！」と笑顔で教室に戻りました。心が温くなる光景でした。

最後に、私がとてもうれしかったのは、美川小学校のよいところとして『地域の人が協力してくれるからいろいろなことができる』『地域の人が笑顔で接してくれる』と書いていることです。地域の方々が学校を応援してくれているおかげで、子どもたちは安全に登校し、学校だけでは得られない学びや体験ができています。こんなすばらしい学校で学べる子どもたちは幸せです。

校長として、これからも「子どもも保護者も教職員も安心できる学校づくり」に努めていきたいと思えます。



DEN (隠れ家)



たてわり班活動



見守り隊のみなさん